

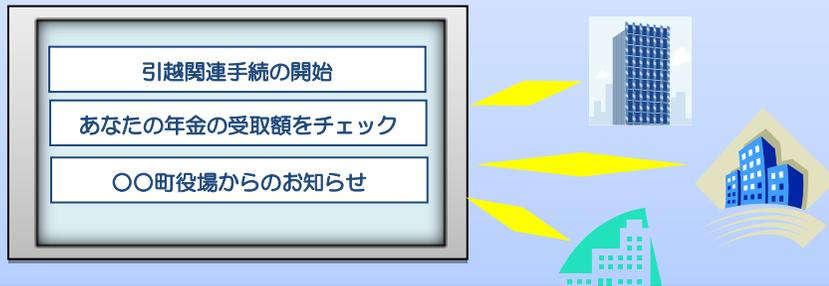
# 高度なICTインフラによる社会問題の解決・利便性の向上

ICTは分野横断的に活用され、社会問題の解決、新たなサービスの創出、利便性の向上を実現

## ICTによる行政サービスの変革

### ワンストップサービス

現在は、引っ越し等のライフイベント毎に大量の手続や書類提出が必要。情報の管理も分散的。



- 一人ひとりに対して適切な情報を配信
- 行政手続きのワンストップ化を実現

## ICTによる環境負荷の低減

消費エネルギー管理システム

高効率な物流・交通システム

地球環境計測、センシング

## ICTによる医療サービス創出・高度化

### ユビキタス健康サービス



センサーネットワーク技術により、いつでもどこでも、健康情報の測定・収集が可能となる

### 高度な医療訓練



(手術シミュレーション)

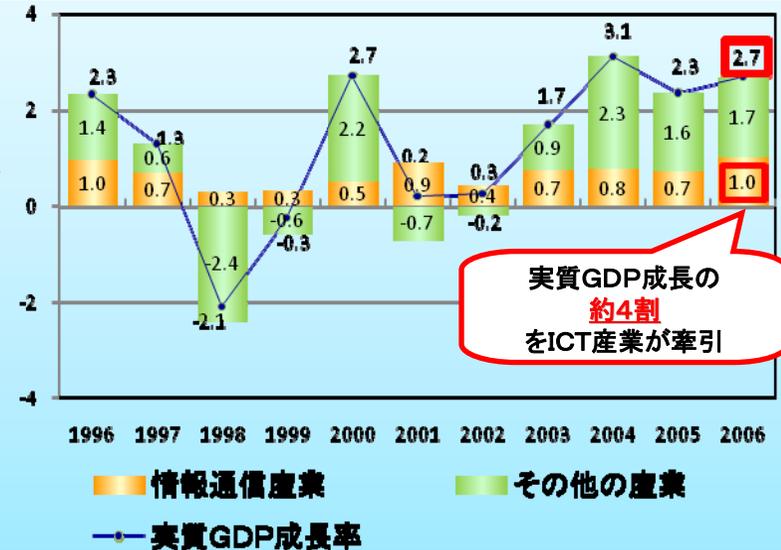
高度な技能を必要とする手術のトレーニングが立体映像で可能になる

# ICT分野への投資の重要性

## ICTは経済成長と安心・安全社会の鍵

- **経済成長に常にプラスの寄与(06年時点でGDP成長の約4割がICT産業)**
- ICT産業を新たな成長戦略の柱とすることにより、ICT産業の市場規模(2006年約100兆円)を、2015~2020年段階で**倍増させることを目指すべき**(ICTビジョン懇談会緊急提言(平成21年2月23日))
- 医療分野や防災分野等の多分野のICT利活用の推進により、**健康長寿社会**を含めた**安心・安全な社会を実現**。

→ICTへの投資は、国民に確実に還元



## ICT分野における研究開発投資の必要性

- 我が国の**経済成長の確保、国際競争力の強化**のためには、経済成長の鍵である**ICT産業の発展が必要不可欠**。
- ICTは技術先導型産業であり、持続的な技術革新が必要。特に、光通信技術等のネットワーク分野、3次元映像等の映像技術分野等において、**次世代インフラや新たな市場を目指し、国際的な研究開発競争が激化**。
- **諸外国がICT分野への投資を強化**する中、我が国のICT分野への政府研究開発投資は10%程度で横ばい。
- 国際競争に打ち勝つには、グローバル市場を視野に入れ、**諸外国との研究開発競争に打ち勝つことが重要**。そのために、**我が国が「強み」を持つ技術の研究開発の強化が必須**。

## 主要外国のICTへの投資動向(R&D)

米国	<ul style="list-style-type: none"> <li>・省庁横断的なICT研究開発プログラムであるNITRD計画における2007年度予算は過去最大の約30億ドル。</li> <li>・2009年2月成立の景気対策法では、215億ドルが研究開発に投資され、ICT研究予算も大幅に増額。</li> </ul>
EU	<ul style="list-style-type: none"> <li>・i2010(欧州情報社会2010)において2010年までにICT研究支援を80%増額するよう提案。</li> <li>・フレームワークプログラム第7次計画において、7か年での総研究開発予算324億ユーロ(約5兆円)のうち、全分野で最大となる3割近くをICT分野に投資。</li> </ul>
韓国	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2008年7月発表のニューIT戦略では、2012年までの5年間で3兆5000億ウォンをICT分野に投資し、「IT融合産業基盤強化のための研究開発の対象分野の拡大」等を掲げている。</li> </ul>